

アルトの皆様

昨日は練習お疲れ様でした。

五味さんのピアノ伴奏があると、より気持ちも入りやすくなりますね。

では、練習日誌をお送りします。

●3月30日(土)14時00分～16時40分

●芦原小学校 2階多目的ホール

●参加人数 S/8、A/12、T/3、B/4

○はじめり

- ・出だしのアカペラ、ぼんやりしないで目の前に景色が浮かぶように、びしっと歌う
- ・「はたけがあり」「かわがあり」の「あり」はとても大事なので気持ちを込める
- ・19小節「あるー」の4分休符は伴奏の最後のアクセントを感じて1.2.3で20小節「せなかをのぼして」に入る
- ・29小節「めー」の8分休符も伴奏の最後のアクセントを感じて次に入る
- ・41小節「だー」の8分休符も伴奏の最後のアクセントを感じて、42小節の「ひかりがかけぬけた」はもっとしっかり一つづつアクセントを付けて、44小節の「かぜがおいぬいた」は大きな風が吹き抜けるように横の流れを感じて
- ・62小節の最後の8分休符も伴奏の最後のアクセントを感じて
- ・82小節「まわりつづけ」は一つづつの音をはっきり歌い、伴奏最後のアクセントを感じて次の「めまいした」に入る
- ・67小節「そんなことど」を次の「も」ド♭の音で歌ってる方がいらっしゃるようなので注意しましょう。そしてmfになるが言葉ははっきりと

○雨

- ・練習番号10最後の「そのもののてに」の「てに」はテンポを戻して遅れないように

○花

- ・出だしの「も」からミドルボイスなので少し上にいる感じで、次の「あなたが」に上がる
- ・45小節「Ahー」はしっかり熱い気持ちで
- ・57小節「はなのように」の「は」の音はrだが次の「なの」と同じdで歌ってる方がいらっしゃるので注意して、その前の拍がないのでピタッと入り、花の可愛らしさや美しさを明るい気持ちで
- ・63小節「とー」は伸ばし過ぎずに、ソプラノ「つむぐ」の入りにかぶらないように気を付ける
- ・練習番号J「だいちをつよくふみしめて」はポジティブな気持ちと希望を感じて

○温かいシチュー

- ・58小節の伴奏を聴いて、タンタンで次の「あたらしい武器を」に入る(指揮を見て)
- ・70小節「よー」は一度ディクレッシェンドしてからクレッシェンドして、71小節「よー」は付点四分休符まで伸ばし過ぎない
- ・74小節「ハリーラ」から80小節「かきまわせ」までは女達が楽しんで作っている様子なので明るい気持ちで

○アルデバラン

・練習番号Hのアカペラ部分、誰かが調子がおかしいとよれてしまうので、各自歌詞をしっかりと頭に入れて調子が狂わないようにする

○母の手

○等圧線

- ・3小節「なかったー」のrからd#に音が変わるところは2拍大事に歌い、次の「まぶしすぎるだけ」に自然に流れて、8小節「おおきくなんかなかった」で落胆して、12小節4分休符(とても重要)で1拍あけて「ただ」でクレッシェンドして、13小節「途方もない」pからffにしっかり持っていく
- ・練習番号D三拍子の2拍目を短く3拍目を長く揺れている感じで
- ・練習番号E「いつかわたしはわたしへと」の「わたし」は急がずに滑らないように
- ・126小節「ただ」の「た」までfのまま「だ」で弱くする
- ・130小節「ないだけ」の「ない」の後は必ずブレスして「だけ」に入り最後はしっかりクレッシェンドする

○AVE MARIA

○Ave Verum

○Kyrie

○Gloria

○Credo

- ・77小節「o-rum」の「rum」は4分音符で切る

○Sanctus

- ・スタートの「San-ctus」は伴奏のリズムを体で感じてイメージしながら。

○Benedictus

○Agnus Dei

○あなたのことを

- ・最後のハミングは良く響かせて段々減っていく感じ

以上です

新里♪